



「声をかけること、

それが健全育成の第一歩」



高知市少年補導センター
所長 吉川 佳余

日頃は、それぞれのお立場での子供たちの健全育成や見守り等による非行防止活動にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

高知市少年補導センターでは、街頭補導活動をはじめ、情報モラル教育推進事業、児童生徒等自立支援教室、非行防止をはじめとする各種授業の実施を通じた少年非行対策事業等を行っております。

街頭補導では、市内の公園や量販店等を巡回し、子供たちに出会った際には、補導行為の有無に限らず、子供たちには積極的に声をかけるよう心がけています。「声をかけるだけ？」と思われるかもしれませんが、この「声をかける」ことはとても意味があると思っています。やはり、自分のことに興味をもってくれている、気にかけてくれている人がいることを形として表せる行為が声かけだと思っています。時には、面倒くさがる子供たちもいますが、中には、何回か出会っていくと自分から寄ってきて「あのねえ・・・」とぼつりぼつりと自分のことを話し始める子供たちもいるのです。だから、少年補導センター職員としては、公園等でいる子供たちには、積極的に声をかけ「君のことを気にかけている大人がここにいるよ」とサインを出し続けます。決して派手な活動ではないのですが、この地道な活動こそが「子供たちの健全育成の出発点」であると考えています。今年度も、少年補導センターとしましては、街頭で出会う子供たちに積極的に声をかけ、「補い、導く」補導活動を実施し、非行防止に繋げてまいります。

また、学校や関係機関と連携し、児童生徒等を対象に「情報モラル教育の推進」に取り組んでまいります。インターネットについての正しい知識や使い方等についても学校等から依頼があれば、児童生徒等の実態や課題に応じたオーダーメイドの授業を実施します。また、入口型非行を未然に防止するために、小学校・義務教育学校（前期）では「万引き防止を含めた非行防止指導」を実施したり、小学校低学年段から規範意識の醸成を図ったりする指導も必要であると考え、非行防止の取組にも力を入れていきます。中学校・義務教育学校（後期）では「自転車盗難防止指導」に引き続き、取り組んでまいります。

さらに、「児童生徒等自立支援教室」を開設し、一人ひとりの抱えている様々な課題に応じた支援等ができる体制を整え、個別でじっくりと学習できる居場所を提供しています。この教室に通うことで、子供たちが希望する進路を保証する一助となり、将来の夢につなげられるよう、心のケアも行いながら、個に応じた学習支援を行います。

最後に、自分のことを好きになれなかったり、居場所がないと思っていたりする子供たちに「自分は人から大事にされている存在だ、自分にもいいところはあるんだ」と感じさせることが我々大人の役割だと思っています。これは、高知市少年補導センターとして大事にしている「補導（補い、導く）」の主たる考えでもあり、今後も地区補導委員の方々をはじめ、学校や関係機関の方とのつながりを大事にして一人ひとりの子供たちの健全育成に全力で取り組んでまいります。どうぞ、一年、よろしくお願いいたします。